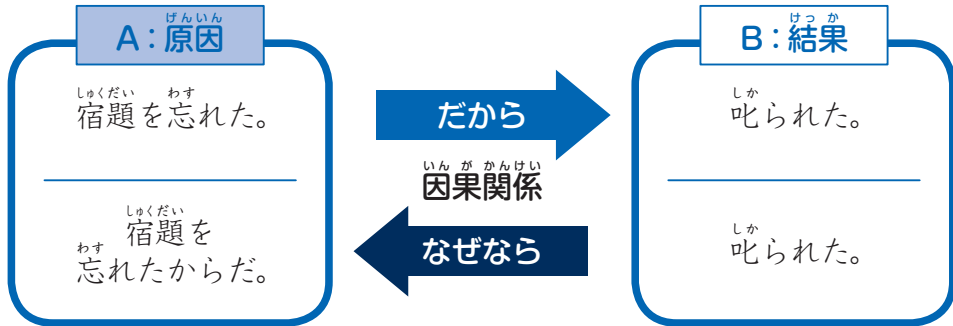


パートⅣ

ちから

「たどる力」

「因果関係」を整理する力



☆上の図を指差しながら、次の①・②を声に出して言ってみましょう。

- ①「宿題を忘れた。だから、叱られた」…………… **A** だから **B**
 ②「叱られた。なぜなら、宿題を忘れたからだ」…… **B** なぜなら **A** から

☆「因果関係」とは、「原因と結果の関係」のことです。

「因果関係が成立する」とは、「なるほどと思える」ということです。

10人中8人が「なるほど」と思えるかどうか（＝客観性が高いかどうか）。これが、正しい因果関係のひとつの基準になります。

「たどる力」とは、原因と結果を正しくつなげていくための力です。

☆「因果関係」を表す接続語は、たくさんあります。以下はその例です。それぞれ、A「宿題を忘れた」、B「叱られた」を入れるなどして、読んでみましょう。

| | | |
|------------------------|-----------------------|------------------------|
| 原因 → 結果 | A だから B | A そのため B |
| A によって B | A それで B | A その結果 B |
| A すると B | A ならば B | A じゃあ B |

| | | |
|------------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 結果 → 原因 | B なぜなら A から | B だって A (から) |
| B A ので | B A から | B A ため |
| B というのも A (のだ) | B A のだ | B A わけだ |